



田中 弘 先生 近影

田中 弘先生退職記念号に寄せて

経済学部長 兼 子 良 夫

田中 弘先生は、2014年3月31日をもって本学を定年退職され、同年4月1日付で本学名誉教授となりました。21年の間、本学における研究と教育並びに学内外の公的な仕事にご尽力されたことに心から御礼申し上げます。

先生は、北海道札幌市に生まれ、高校を卒業されるまでの18年間は雪が友達という生活だったとお伺いしております。お小さい頃は近くに米軍ベースがあり、コーラを毒薬と勘違いした話やチョコレートを求めて米軍のジープを追いかけた話などをお伺いすると、戦後日本の国民生活と経済成長を実体験されてきたからこそ、今日の研究と教育の両面において先生の「寛容」「相互理解」「成長」を希求される姿勢が理解できるような気がいたします。

先生は、1966年に早稲田大学を卒業後、同大学大学院商学研究科に進学され、修士課程および博士課程を修了されました。その後、1972年に愛知学院大学に講師として奉職され、助教授、教授として会計学の研究と教育にまい進されてきました。

1993年に本学経済学部教授として着任され、それ以後、本誌に収録されておられるような卓越した研究業績を纏められ、現在も毎年驚くべき数の論文と著書を上梓されております。

先生は日本を代表する会計学研究者として長年ご活躍されるとともに、政府委員会や金融機関などで委員長や座長を務められ、いわば会計学の応用編とでもいうべき職務にも従事されてきました。現在も経済産業省はじめ金融庁、金融機関、事業会社などから様々な相談を受けられているとお伺いしております。

本学をご退職後は、一般財団法人経営戦略研究財団の理事長、辻・本郷税理士法人の顧問、英国国立ウェールズ大学大学院東京校の教授、一般社団法人アジア連合大学院機構の理事、ホッカインホールディングス買収防衛独立委員会の委員長など数々の要職に就かれ、ご活躍の場を広められておられます。

先生を語るときに忘れてはならないのが、学生との交流ではないでしょうか。先生ご自身のモットーは、何と、「遊んだ分だけ仕事をする」というものだそうです。先生は、私の知る限りでも、スキー、テニス、ゴルフ、フィッシング……と幅広いご趣味をお持ちです。なかでもスキーは、指導員の腕前だとお伺いしております。これらのご趣味を、田中ゼミの学生と一緒に楽しまれたことが、卒業後も先生とOBの皆さんとの堅い結束に繋がっているものと拝察いたします。また、大学院でも、田中ゼミはいつも盛況でした。院生の半数近くが田中ゼミに所属する年もあったほどです。卒業して10年、20年と経てもゼミ生との交流が活発に継続されておられることは、まさに先生のお人柄によるものと思われまます。

ii 商経論叢 第50巻第2号(2015.3)

先生には、今後ともご健康にて先生流の「遊び」と「ご研究」にますますご活躍なされることを心より祈念申し上げます。